

公文式オーバーカッセル教室

教室便り 号外 2007年11月

指導者 教育学博士 フックス 真理子

Tel 02163/450393 Fax 450395 (フックス自宅)

Tel 0211/573573 (教室)



嬉しいニュースがありましたので、今回は教室便りを号外でお送りします。

おめでとう、青木麻衣さん 全5教科修了！



青木麻衣さん

現在 ゲレスギムナジウム

11年生

公文式オーバーカッセル教室の、いや、全世界的な新記録が誕生しました。青木麻衣さん(高1)がこの9月、公文式数学最終教材であるP教材を修了しました。実はこの数学は、麻衣さんにとっては5教科目。5教科も修了した生徒は世界で初めてだそうです。0歳3ヶ月で公文式学習を始めた麻衣さんの歩みをご紹介します。

1991年10月 0歳3ヶ月 練馬中村橋教室(指導者 鈴木美枝子) 公文式算数・国語入会

もちろん自分ではできないので、ご両親が話しかけ、本人にかわってプリントを解いてみせた。



(0歳3ヶ月) 中村橋の教室で

1992年4月 0歳9ヶ月 渡独

1992年5月 0歳10ヶ月 オーバーカッセル教室転入会 幼児教室に参加。お母様がおうちでの働きかけを克明に記録にとる。それによれば、1日30冊くらいの読み

聞かせやたくさんのお歌をうたうなど。

1993年4月 1歳9ヶ月 公文式ドイツ語入会

このころすでに一人で日本語の本が読めた。

1997年8月 Niederkasseler Grundschule 入学

1998年12月 小1 公文式ドイツ語修了

ドイツ語の書きの学習は大変だったが、国語の進歩が高かったお陰で修了する。

横浜で行われた進捗上位者懇談会に招待される。



(小1) 横浜の進捗上位者懇談会にて

1999年5月 小2 公文式英語入会

ドイツの学校で学んでいて、外国語のセンスがあったためか、めざましい速さで英語の学習は進んだ。

2001年8月 小4 公文式国語最終教材0終了

古典の学習は、本人はあまり好きではなかったようだが、それでも最後までやりきった。

2001年8月 Görres Gymnasium 入学

2003年7月 小6 公文式英語最終教材0終了

ギムナジウム入学前にすでにかなりの英語の知識があったので、学校で英語は最初から得意科目になった。また、州の計算力コンテストに学校代表で出場。女子生徒としてただ一人入賞を果たした。

2006年5月 中3 公文式フランス語入会(通信)ブリュッセル教室(指導者 久常順子)

フランス語は、ギムナジウムでの勉強が先行していたため、公文の学習はむしろ復習として位置づけられた。

2007年8月 高1 公文式フランス語修了

2007年9月 高1 公文式算数・数学最終教材P修了

5教科最後の難関であった数学も修了。L教材あたりからは、解答書を手がかりに、まったくの自学自習で

取り組んでいた。

15年かけて、公文式の学習を続けてきた青木麻衣さんにお話を聞きました。

Q. まずは、全部修了した時の感想を。

麻衣 それはうれしかったですよ。毎日やらなくていいんだっていう。

Q. つまり逆にいえば、毎日自分で公文をやらなくてとは意識していてその負担が大きかったということですか。

麻衣 いや、もう最後のほうでは、日常の一部みたいになっていたので、歯を磨いたりするのと同じで、別に普通のことになっていました。ただ、宿題をしたり、ほかのことをやっているときでも、あ、公文をやらなくて、という考えはいつも自分の頭の中にあっただので、それがなくなったのは、やはりうれしいです。

Q. 5教科やってみて、一番大変だったのは？また、一番楽しくできたのはどの教科ですか。

麻衣 一番つらかったのはもちろん算数です。なにしろ15年もかかっていますからね、算数だけは。それから一番ラクだったのはフランス語でした。

Q. それはどうしてですか。

麻衣 やはり自分は文系なので、算数ができないという問題がまずあって。だから公文があったおかげで、授業についていけるという感じでした。公文で身につけた数感覚がなかったら、学校で大変だったと思います。フランス語は学校ですでに授業であったし、教材に恋愛小説がたくさん入っていたので、興味を持って学習できました。それに最後に始めた教科なので、公文のやり方も良くわかっていましたからラクでした。

Q. 算数ではどんなところがつらかったですか。

麻衣 私は、みんなができないところはよくできたけれど、逆にみんなができるところでつまずいたんです。たとえば、C41からのかけ算の筆算とか2桁の割り算とかは大丈夫でしたが、D161からの約分は苦労しました。それから、小さいころ、4A31に入ったときも大変でしたね。プリントを床にわざと落としたことを自分でも覚えていますが（註 数字の書きが初めて出てきたとき、何度繰り返しても2が書けなくて嫌がり、教室では寝たふりまでしていましたよ。）

Q. でも、その大変な箇所もちゃんと克服した？

麻衣 繰り返し復習したのがよかったです。普通は親が先に進ませたがるけど、うちは、親が戻ったら？と言ってくれました。公文では「戻る勇氣」が大切です。その復習があったからこそ、先に進めたのです。学校の休みのときは、高教材をやっているけど、四則の練習とか、簡単なことをたくさんやりました。小学校の高学年ころからは、ここはまだもっと練習したほうが良いかと、自分でも必要な復習回数に分るようになりました。

Q. 公文でやっている算数で、直接学校で勉強に結びつ

かないこともたくさんあります。学校の数学の授業と公文の関係をどう見ていたか教えてください。

麻衣 公文では例題を見て自分で考えます。それに加えて、学校で理論的な説明を聞くとまたよく分ったし、反対に学校で習うやり方の前に、まず公文で学習したやり方で答えを出してみても、答えを確かめながら解いていたこともあります。

Q. 自分で文系だといっているように、麻衣さんはドイツ語・日本語のバイリンガルだけでなく、英語やフランス語も得意で言葉の力はすごいものがありますが、それはどうやって身についたのですか。

麻衣 とにかく小さいころから本をたくさん読んだことだと思います。日本の祖母がいつも送ってくれたし、それから我が家は、絶対に日本語の中にドイツ語の単語をまぜてはいけないというきまりもありました。ドイツ語の単語がまじったら、両親から言い直しをさせられたものです。

Q. 公文で15年間学んできてよかったと思えることは何ですか。

麻衣 集中力が身についたということです。私はバレエやヴァイオリンや合唱などもやっていたのですが、いつも初めて習うことにすぐ集中できました。そして始めたら最後までやり遂げる、ということも公文で学んだといえます。それから短時間で色々なことができる作業力とか、時間管理も得意になりました。

Q. 麻衣さんの将来の夢はなんですか。

麻衣 昔からずっと通訳になりたいと思っていましたが、自分で最近それを何度か実際に経験して、これはつらい仕事だと思いました。でも、自分は語学が得意なので、将来はこれを生かした職業に就きたいと思っています。

Q. 最後に公文の後輩へのアドバイスを！

麻衣 誰でも公文をやめたいと思うことはあると思います。私も何度もやめたいと思ったことはありますが、第一にマリコ先生に恐くて言えなかったことと、第二にやめた後いつの日か後悔するときがくるのではないかと恐れていた理由から公文を続けていました。結果的にそれが正しい判断だったと思っています。あとは、本をたくさん読むことが大切だと思います。本を通して生まれる想像力は勉強で学べるものではないと思うからです。

最後にご両親にもお話をうかがいました。お二人とも学生時代、要領のよい勉強のやり方がわからなくて苦労したので、そういう風になってほしくない、親に頼らないでしっかり自分で勉強していける人間になってほしいと思って公文式に入会させたそうです。計算力がついたなんていうのは、ごく一部の成果、そこで満足しているだけではだめと語るとご両親。そのご両親の願いがみごと実現したのではないのでしょうか。麻衣さんがこれからも公

文で学んだことを生かしながら、自分の道を切り拓いて
いけるよう祈っています。